

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		2011年 7月 15日	
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市開田1丁目6番6号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 三菱製紙株式会社京都工場 執行役員工場長 山田 元茂	
環境マネジメントシステムの名称		ISO14001	
適用範囲		三菱製紙㈱ I & Dカンパニー京都工場及び京都R & Dセンター	
導入年月日		1999年 12月 3日	
認証番号		JQA-EM0621	
基本方針		(1) 法令順守体制及び環境教育の一層の充実 (2) 地球温暖化対策の推進 (3) 地域社会との調和 (4) 産業廃棄物の有効利用と有価物化の更なる推進 (5) 環境管理システムの充実 (6) 緊急時対応の推進	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）		○産業廃棄物発生量 : 130トン/年以下 — 混合廃棄物発生量 : 4トン/年以下 — 事業計一般廃棄物発生量 : 10トン/年以下 ○エネルギー原単位向上 : 2009年度比1%向上 その他排水処理関係、化学物質管理等のマネジメント設定実施。	
目標を達成するための取組の内容		○産業廃棄物削減 ・古紙、廃プラ、金属類の分別廃棄向上により有価物化を図る。 ・最終分別の強化により産業廃棄物、混合廃棄物の削減を図る。 ・職場での分別教育及び分別徹底により廃棄物を減らす。 ○エネルギー原単位向上 ・空調機の省エネ対応及び空調条件の見直し。 ・蒸気漏れ防止への対応 ・ピーク電力カットに向けた取り組み。 他	
目標を達成するための取組の進捗状況		○産業廃棄物削減 ・職場での廃棄物分別のレベルアップ教育等により、廃棄物発生量の維持向上が図られたとともに、有価物化による売却益の増加が得られた。 ○エネルギー原単位向上 ・空調条件の見直しを継続的に見直し実施中。 ・蒸気トラップの点検整備を継続実施中。 ・トランス更新による効率改善を実施中。 他	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価		○産業廃棄物削減 ・突発的な汚泥（約100トン）の発生により、産業廃棄物発生量が227トン/年で未達となったが、その他の廃棄物については目標を達成した。 ○エネルギー原単位向上 ・2009年度に対し5.1%エネルギー原単位が向上した。 ◎その他の環境項目を含め、一部目標の未達も散見されることから、更なる継続的改善が必要であり、次年度の目標に反映させる。	
事業活動に係る法令の遵守の状況		関連法規の遵守については、年間計画を立て月単位で確認を行っている。また、計画外の法対応についても都度対応を行っており、違反や指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		マネジメントの評価、見直しの必要性については、原則として1回/年検討を実施している。 2010度は、2009年度の目標及び取組内容について審議した結果を基に、更なる追加施策を取り入れながら運用した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。